

Santa Lucia Fantasia

Carlo Graziani-Walter op.261(1851～1927)

サンタルチア 幻想曲

カルロ・グラツィアーニ＝ワルテル 作曲 作品 261

作者はベルギー、ブリュッセル出身で、早くからイタリアに帰化し、フィレンツェに定住してムニエル等と共にマンドリン音楽の推進に寄与し、1927.8.30 此処で没した。

オペラ、オペレッタ、映画音楽にも手を染め、作品番号では 433 番まで判明しているが、マンドリン音楽に貢献したことが大きい。

著名なのは「ダンテとペアトリーチェ瞑想曲」であるが、無数と云ってよいほどのマンドリンの小曲に佳曲が多い。

本曲もその一つで、誰も知っているナポリ民謡をその倣でなく、あの音形を様々に繰ってファンタジアとしたところに作者の並々ならぬ天分を垣間見るのである。

「ロマンの薫り」第一集に収めた「波」も「即興的スケルツォ」も之に類するものでその他「皇帝シャコンヌ」、「オダリスカの夢」、などテレビ以前のラジオ放送でマンドリン五重奏の形で筆者は屢々（しばしば）放送した過去を思い出す。

追加資料

遺稿

中野二郎編著

「マンドリン ロマンの薫り 2 集」より